

2 通路等

■基本的な考え方■

高齢者や身体障害者等が安全かつ容易に通行できる構造とする。

整備基準	目標となる指針
<p><b>2 構内の通路及びその他これに類するもの(以下「通路等」という。)</b></p> <p>1 通路等を設ける場合においては、イの表〔建築物〕2の項〔廊下等〕1、2及び6に定める構造とすること。</p> <p>2 1の項〔改札口〕に定める構造の各改札口から乗降場に至る経路のうち、それぞれ1以上の経路における通路等はイの表〔建築物〕2の項〔廊下等〕3に準じた構造とすること。この場合において、5の項〔エレベーター〕に定める構造のエレベーターが設置されるときは、当該1以上の経路は当該エレベーターの昇降路を含むものとする。</p> <p>3 次に掲げる場所に近接する通路等の部分には、点状ブロックを敷設すること。</p> <p>ア 人又は8の項〔案内標示等〕に定める構造の案内標示等により視覚障害者に公共交通機関全体の利用に関する情報提供を行うことができる場所</p> <p>イ 券売窓口</p> <p>ウ 券売機</p> <p>エ エレベーターの昇降路の出入口</p> <p>オ バス停留所</p> <p>4 1以上の改札口から3に掲げる場所及び乗降場までの通路等の部分には、線状ブロックを敷設すること。</p>	<p><b>1 構内の通路及びその他これに類するもの(以下「通路等」という。)</b></p> <p>1 通路等を設ける場合においては、1の表〔建築物〕2の項〔廊下等〕1から3まで及び7に定める構造とすること。</p> <p>2 規則別表第2ロの表〔建築物以外の公共交通機関の施設〕1の項〔改札口〕に定める構造の改札口から乗降場に至る経路における通路等は、1の表〔建築物〕2の項〔廊下等〕4に準じた構造とすること。</p> <p>3 次に掲げる場所に近接する通路等の部分には、点状ブロックを敷設すること。</p> <p>ア 人又は6の項〔案内標示等〕に定める構造の案内標示等により視覚障害者に公共交通機関全体の利用に関する情報提供を行うことができる場所</p> <p>イ 券売窓口</p> <p>ウ 券売機</p> <p>エ エレベーターの昇降路の出入口</p> <p>オ バス停留所</p> <p>4 各改札口から3に掲げる場所及び乗降場までの通路等の部分には、線状ブロックを設けること。</p>

整備基準の解説
<p>●整備の対象</p> <p>建築物の廊下等と同様に規定していて、改札口から乗降場までの経路を整備する。</p>

目標となる指針の解説
<p>●整備の対象</p> <p>目標となる指針の建築物の廊下等と同様に規定していて、改札口から乗降場までの経路を整備する。</p>